

「八女福島の燈籠人形」公演（国指定重要無形民俗文化財）

1 開 催 日：令和6年9月21日（土）～23日（月/振替）

※口開け公演 9月20日（金）20時00分

2 公演時間：①13時30分 ②15時 ③16時30分 ④19時 ⑤20時30分

（※1回の公演時間 約30分）

3 芸 題：「吉野山狐忠信初音之鼓」

（よしのやまきつねただのぶはつねのつづみ）

※解説については、別紙参照

4 開催場所：八女市本町 福島八幡宮境内

5 観 覧 料：無料

6 交通アクセス：八女ICから車で約10分

7 連 絡 先：八女市教育委員会教育部文化振興課

☎0943-23-1982



8 概 要

「八女福島の燈籠人形」は、福島八幡宮「放生会」の奉納行事として、秋分の日付近の3日間で上演されるからくり人形芝居です。当初、山鹿市・大宮神社から燈籠を譲り受け、江戸時代半ばに福島町民が独自の工夫をこらし人形の燈籠を奉納したことが始まりといわれます。当時、大阪方面で隆盛を誇った人形浄瑠璃の技術を採用し、現在の形態になったといわれています。



9 子ども教室発表会

八女福島の燈籠人形保存会では、伝統芸能を継承するために、小学生・中学生を対象にした「子ども教室」を開催しており、令和6年度は23名の子どもたちが燈籠人形の「お囃子(はやし)」の演奏を練習しています。下記の日程で発表会を行い、練習の成果を披露します。

【子ども教室発表会】

開催日時：令和6年9月21日（土）14：00～

開催場所：福島八幡宮境内 屋台

※子ども教室は、毎週土曜19時～20時におりなす八女研修棟で行っております。（令和6年5月25日～9月16日の全16回）



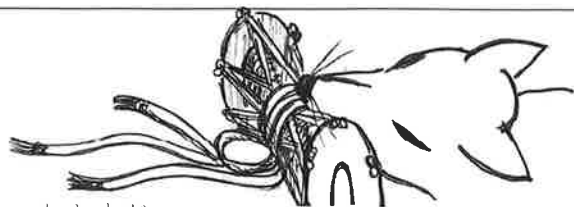
10 その他

出演者のみなさんの練習については、9月2日から福島八幡宮の屋台及びおりなす八女研修棟にて行われる予定です。（火曜日～土曜日 19時30分～）※状況によって変動する場合があります。

よし の やま きつね ただのぶ は つね の つづみ

吉野山狐忠信初音之鼓

～ あらすじ ～ 【公演時間 約 30 分程度】



① 壇ノ浦の戦いで平家を滅ぼした源義経は朝廷より褒美としての初音の鼓をやむなく受取りました。この鼓は、源氏の大將であり義経の兄の「頼朝を討て」という朝廷の思いを含んでいました。



⑥ 別の忠信は静御前のお供はしていないと言います。静御前のお供をしていた忠信は姿がありません。義経は静御前に、どちらが本物の忠信か見分けるように命じました。



② 義経は兄への忠義から「鼓を打たない」という思いで初音の鼓を静御前に預けました。しかし、義経は頼朝に疑われて兵を向けられます。



⑦ お供の忠信は初音の鼓を打つと不思議なほどすぐに現れていたのです。静御前は初音の鼓を打ちました。鼓の音で現れた忠信に、静御前は問いました。



③ 義経を追っていた鼓の藤太は静御前と初音の鼓を見つけました。藤太は鼓を奪い、静御前を引立てようとしています。そこへ義経の家の佐藤忠信が現れて静御前と鼓を助けます。



⑧ 忠信は自分が狐であることをあかししました。初音の鼓は狐忠信の親狐の皮を朝廷が雨乞いのために張っていて、親を慕った狐が、鼓を持つている静御前を守ってくれていたことが分かりました。



④ 後から戻った義経は、忠信に褒美を与え、静御前の守り役を命じます。そして義経は静御前と忠信を置いて都を離れることにしました。



⑨ 親兄弟の縁がうすい義経は、親思いの狐忠信に心うたれたことと、静御前を守ってくれた褒美として、狐忠信に初音の鼓を与えました。



⑤ ある時、義経が奈良の吉野にいたことを知った静御前は、忠信を連れて義経に会いに行きます。すると義経のもとには、ふるさとに帰っていた別の忠信がいました。



⑩ 狐忠信は初音の鼓を貰ったおれに追手の兵が近付いていることを教えて助けます。そして初音の鼓をくわえて大喜びで山へ帰っていききました。



八女福島燈籠人形

「吉野山狐忠信初音之鼓」

狐は狐でも、昨年の芸題『玉藻之前』に出てくる九尾の狐とは違って、とても親思いで、鼓の皮に使われた両親を慕って、鼓を預かる静御前を追手から守るやさしい狐です。



今年の芸題は歌舞伎でも大人気の演目『義経千本桜』をもとにしたお話です。

初音の鼓とは…？

その昔、大和の国の千年生きながらえているという雌狐と雄狐の生皮をはいで作った鼓を打つとたちまち雨が降り出したという伝説の鼓です。

舞台に出演する人形のお役どころは・・・？



しずかごぜん
静御前（横遣い人形）
義経の恋人で、初音の鼓を預かっている。忠信と共に義経のもとへ向かう。



みなもとの くらうよしつね
源 九郎義経（飾り人形）※舞台左側で動きません
源氏の大將、源頼朝の弟。兄への忠義から初音の鼓を静御前に預けているが、頼朝の兵に追われている。



きつねただのぶ
狐 忠信（下遣い人形）
義経の家来（忠信）に化けた狐。初音の鼓は親の皮が張られており、親を慕って鼓を預かる静御前を守り役として助ける。



つづみ とうた
鼓の藤太（下遣い人形）
義経を追っていて、初音の鼓を奪おうとねらっている。

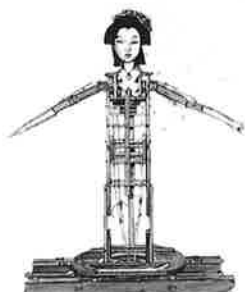


こしもと
腰元（横遣い人形）
静御前の付き人

舞台内部はどうなっているの・・・？

きょうげんかた
〈狂言方〉

人形の遣い手と囃子方の呼吸を合わせるのが狂言方です。舞台上下層でお互いが見えないなかでも狂言方の拍子木で間合いを整える大事な役割です。

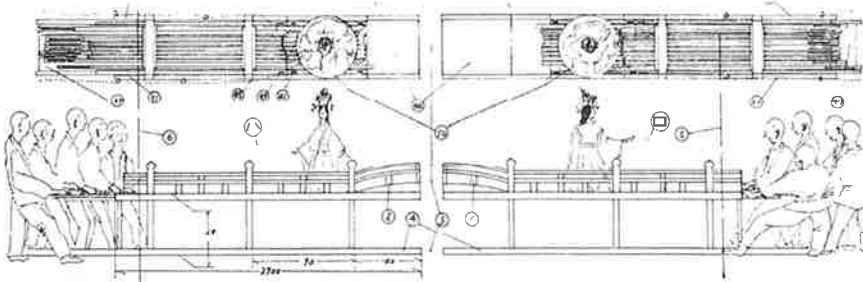


うた はやしかた
〈唄・囃子方〉

物語を語る唄、情景を演出する三味線、場面にいるどりを添える鼓など。仕切り太鼓の絶妙な間合いに合わせて、それぞれが掛け合うお囃子が聴きどころです。人形の動きに合わせて進めるので、生演奏でおこないます。

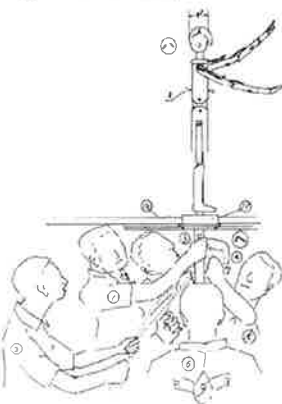
よこづか
〈横遣い〉

左右それぞれ6人で動かします。舞台袖の離れた所から、こまやかな操作するのはとても難しい技です。なかでも人形が左右の橋を渡る「送り渡し」は横遣いの見せどころ。左右の横遣いの息の合った操作にご注目！



したづか
〈下遣い〉

舞台の下から6人で一体の人形を動かします。見上げて操作するので体力いりますよお～！



こうげんやく
〈後見役〉

子どもたちが交代で舞台脇から人形の動きを見守ります。かつては人形の衣裳を直したり、舞台上の手助けをするのが役割でした。



いしょうかた
〈衣裳方〉

衣裳の早変わり「素抜き」など、人形の衣裳は次々と変化にとんでいます。人形の衣裳や髪などを整えるお世話役です。



国指定重要無形民俗文化財

八女福島の 燈籠人形公演

芸題 吉野山狐忠信初音之鼓

2024年 9月21日(土)・22日(祝)・23日(振替)

八女市宮野町・
福島八幡宮境内

口開け公演

9月20日(金)
20時

上演時間(1日5回)

第1回 13時30分
第2回 15時00分
第3回 16時30分
第4回 19時00分
第5回 20時30分

上演時間1回約30分



主催 八女福島の燈籠人形保存会

お問い合わせ 八女市教育委員会 文化振興課 TEL 0943-23-1982